

令和8年4月 定例教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和8年4月24日(金)10時00分～11時30分
開 催 場 所	半田市役所 庁議室
出 席 委 員	教 育 長 榊 原 雅 晃 委 員 堀 崎 隆 資 委 員 新 美 大 委 員 久 米 宏 和 委 員 桂 優 子 委 員 正 村 日 登 美
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長 森 田 知 幸 学 校 教 育 課 長 内 藤 誠 主 任 指 導 主 事 木 下 稔 章 指 導 主 事 岡 戸 秀 一 指 導 主 事 森 木 綿 子 指 導 主 事 西 山 健 給 食 セ ン タ ー 所 長 榊 原 秀 夫 生 涯 学 習 課 長 石 島 陽 子 ス ポ ー ツ 課 長 門 田 和 博 ス ポ ー ツ 課 主 幹 河 合 信 二 図 書 館 長 藤 井 寿 芳 博 物 館 長 中 村 省 吾 新 美 南 吉 記 念 館 長 遠 山 光 嗣
事 務 局	学 校 教 育 課 総 務 担 当 主 査 石 川 修 平
報 告 事 項	■報告事項 (1)寄附、共催、後援願について (2)令和8年度半田市教育支援委員会委員の委嘱について (3)令和8年度半田市子どもサポート会議委員の委嘱について (4)令和8年度小中学校・幼稚園訪問要項について (5)令和7年度学校運営協議会の活動報告(成果と課題)について (6)令和8年度学校運営協議会委員等の委嘱について (7)令和8年度生徒会サミット年間計画について (8)児童生徒の交通事故・問題行動等について (9)令和7年度文化活動全国大会等出場激励金の支給実績について (10)半田市立図書館及び半田市立亀崎図書館の休館について (11)地域課題解決支援コーナー及びタイアップ講座について (12)「半田市文化財保存活用地域計画」について (13)各種事業について ①「2026年度 音楽イベントリスト」の発行について ②「令和8年度まなびとゼミ」受講者募集について ③ 半田空の科学館「Sky Lab.HANDA」中学生キャストの募集(部活動改革事業)について ④ちいさなコンサート「親子で楽しむ！アコーディオンコンサート！」(5月23日)の開催について ⑤まちなかでアート事業「図書館で触れる生の音楽『津軽三味線コンサート』」(5月30日)の開催について ⑥「第3回音楽マルシェ」(6月6日)の開催について

	⑦「赤ちゃんと楽しめるシャボン玉のコンサート」及び「シャボン玉のコンサートのはじまりはじまり」(6月28日)の開催について ⑧日本福祉大学が展開する学びのプラットフォーム「FUKU(ふく)+(たす)」を活用したオンデマンド講座の提供(5月1日～)について ⑨半田市立図書館運営基本計画スタート講演会について ⑩亀崎図書館「オタツシャ音読教室2026皐月」について ⑪あかちゃんとしょかんボランティア養成講座について ⑫音訳ボランティア養成講座について ⑬「初夏の旧中埜家住宅一般公開－半六さんの別荘で音楽を楽しもう－」について ⑭「陶芸作家の茶碗による呈茶会」について ⑮正八ちゃんの端午の節句について ⑯童話創作講座について
各課事務連絡	なし

＜議事録＞

1. 前回の会議録の承認	(事務局) 3月定例会の会議録について概要説明 → 一部修正し、承認
2. 教育長報告	(教育長) 4月に小学校・中学校・幼稚園の入学式・入園式が行われ、教育委員にも出席いただき感謝申し上げます。入学・入園した子どもたちの成長がこれから楽しみ。1年間、子どもたちの成長を見守っていただけたらと思う。 4月16日、17日に金沢市で開催された東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会に出席した。文部科学省による次期学習指導要領改訂に向けた検討状況の講演があり、「多様な子どもたちの深い学びを確かなものにする」という方針が具体化されていることが示された。これまでと違い、検討状況は文部科学省ホームページ等で逐次公開されており、改訂を待つから対応するのではなく、今すぐ取り入れられるものは先取りして積極的に取り入れていく姿勢が必要だと感じた。昨年9月に発表された論点整理も現在検討が進んでおり、リアルタイムに提供される情報にアンテナを高くして注目していく必要性を感じている。 本日、定例教育委員会開催前に知多信用金庫による緑のカーテン目録贈呈式が行われた。当該寄附は17年間継続して取り組まれている歴史あるものだが、学校へのエアコン設置が進んだこともあり、今後の取組内容について見直しの提案もあった。私も学校に聞いてみるが、何かよいアイデアがあれば教えてほしい。
3. ■報告事項 1) 寄附、後援願等	(学校教育課長) ・寄附 3件 ・共催 1件 ・後援名義使用許可 27件

2) 令和8年度 半田市教育支援 委員会委員の委 嘱について	(学校教育課長) 障がいのある児童生徒の保護者に対し、就学上の支援と助言を行う教育支援委員会の委員について、資料記載の16名に委嘱する。
3) 令和8年度 半田市子どもサ ポート会議委員 の委嘱について	(学校教育課長) 不登校支援をはじめ、幅広く教育支援を行う半田市子どもサポート会議委員について、資料記載の31名に委嘱する。
4) 令和8年度 小中学校・幼稚 園訪問要項につ いて	(主任指導主事) 今年度も、知多地方教育事務協議会から通知された学校訪問実施要項に基づいて、小中学校への訪問を行う。今年度の着眼点について、「学校教育目標達成の方策について」から、「その他について」まで、それぞれ訪問の着眼点が示されているため、一度ご一読いただきたい。実際に各学校現場において、教育委員の皆様に見ていただいた小中学校の状況を踏まえて、学校へのご助言もお願いしたい。 『教員研修の手引き』について、毎年この中に特集ページが組まれている。今年度は、特集1が『幼保小の架け橋プログラムの実践に向けて』、特集2が『愛知県初フレキシブルハイスクールについて』、特集3が『愛知県立夜間中学校について』となっている。幼保小の架け橋プログラムについては、半田市教育委員会でも重点を置いており、昨年度からキャリア教育推進委員会の中に関連する新たな部会を立ち上げて連携を取っている。外国にルーツを持つ方、不登校経験者など、さまざまな背景を抱えた学習者の学習ニーズに対応するためのフレキシブルハイスクールや夜間中学校といった制度は、中学校から高等学校へのつながりをより円滑なものにすることができる重要な制度だと考えている。小学校、中学校に在籍している間だけではなく、小学校就学前、中学校卒業後についても意識しながら、小中学校の活動を見ていくことは重要な視点であると考えているため、ぜひ参考にしてほしい。 令和8年度からの幼稚園訪問については、特設保育の時間を設定せずに、すべて公開保育として参観していただくように変更することを予定している。それに伴い、訪問時の協議会の持ち方にも多少の変更があるため、資料にてお示しする。また、委員の皆様には、参観いただいた各クラスの園児の様子を通して、幼稚園教諭の声かけや関わり方などについてご意見やご助言をいただきたい。 最後に、半田市立小中学校・幼稚園訪問日程の最新版をお示しする。ご確認のうえ、今後の訪問に活用してほしい。 (教育長) 学校訪問実施要項について、昨年度と大きく変わったところはあるか。 (主任指導主事) 小中学校訪問については、大きな変更点は示されていない。先ほど説明

	した着眼点についても、例年示されているものになる。 (教育長) 働き方改革を含め、多忙化解消に向けた取組が推進されているか、という着眼点が示されている。業務改善健康確保措置計画が今年度より適用され、半田市内全小中学校で教職員の業務改善・健康確保に関する取組みが各学校でなされるはず。それを点検・評価するというのも、教育委員会の一つの役割になるため、その点のご理解の上で、働き方についても着目していただけるとありがたい。また、幼稚園訪問の内容が若干変更されているため、その点についても理解をお願いしたい。
5) 令和7年度 学校運営協議会 の活動報告(成 果と課題)につ いて	(指導主事) 令和7年度は、各小中学校で地域とともに学校づくりに取り組むコミュニティ・スクールの活動が推進された。子どもたちのためにできることを、地域の方々の推進力をもって活動を継続・拡大していただいている。市内小中学校では、登下校の見守りや環境整備、部活動支援など、毎日の学校教育活動への支援を継続していただいているほか、委員の方々のネットワークを生かした協力者の呼びかけ、子どもたちや保護者の方と直接対話することができる機会の設定など、それぞれの地域の特性を生かした活動があった。一方、課題として、子どもたちの活動が受け身にならないよう、子どもたち自身が地域のためにできることを考えていける仕組みづくりや、学校に関わる人材の確保、広がりの必要性が挙げられている。また、活動内容や組織のあり方など、これまで通りではなく、社会の現状や地域のニーズに合わせた見直しを必要と考える学校もある。これらを受け、情報を共有したり、専門的な助言をいただけるような機会を設定する必要があると考えている。 次に、コミュニティ・スクール推進事業について報告する。令和7年度は、さくら小学校が児童の登下校見守り用ユニフォームの作成と、星を見る会を実施した。雁宿小学校では雨除けテントのセット購入、有脇小学校では稲作体験・栽培体験用物品の購入、板山小学校では板山歴史パネルの作成、地域と連携した出前授業を実施した。子どもたちが参加できる地域行事や、安心・安全な環境づくり、地域の方との触れ合いや関わりを通して、学校が好き、地域が好きな子どもたちが育っている。
6) 令和8年度 学校運営協議会 委員等の委嘱に ついて	(指導主事) 令和8年度の学校運営協議会について、各小中学校から推薦名簿を報告していただき、半田市立小中学校における学校運営協議会の設置に関する規則第8条に基づいて委員を任命する。今年度は、委員166名、コーディネーター26名に委嘱する。 (新美委員) コーディネーター名簿のうち、一部の小学校で委員名簿の方と同じ人がそのまま掲載されている。コーディネーターの役割、趣旨が理解されているのか気になる。

	(指導主事) 委員とコーディネーターを兼務されている学校もある。活動委員として参加する場面と、コーディネーターとして活動する場面はあると捉えているが、確認する。 (新美委員) ただ単に委員と同じ方をコーディネーターとしている可能性もある。コーディネーターは学校や委員、地域団体のことをいろいろ把握されていて、学校から『こういうことをやってほしい』と依頼された時に、円滑に調整をする役割だと思っている。もちろん委員も兼ねていることはあると思うが、コーディネーターと委員が全く同じでいいのか、確認したほうがいい。 (堀崎委員) 青山中学校にコーディネーターがない理由はあるか。 (指導主事) 学校によってはまだ任命していない学校もある。 (正村委員) 青山中学校と花園小学校で、民生児童委員の会長の職が 2 人になっており、花園小学校側の委員の役職が、実際には副会長だと思う。この報告は、本人が言われた通り書くのか。 (指導主事) 学校から提出されたものを掲載しているが、委員の役職等の詳細まで把握できていないところがあるため、確認する。(指摘のとおり、副会長へ修正) (桂委員) 名簿に記載の年代について、合っているのか。 (指導主事) 名簿の年代が合っているか含め、確認する。 (教育長) 各学校には正確な情報を記載するよう指示しているため、学校と連携をとって確認すること。 (久米委員) 学校によって人数が 7 人だったり 10 人だったりバラツキがある。学校の規模によって、委嘱できる委員数の規定があるのか。
--	--

	(指導主事) 規定では最大 10 人までである。 (教育長) 来年度からは資料に規定内容が分かるものを添付してほしい。
7) 令和 8 年度 生徒会サミット 年間計画について	(指導主事) 今年度は、メインテーマを『ふるさと半田をより良くするために』として、5 月、9 月、12 月、3 月の年 4 回開催する予定。議長校はローテーションしており、今年度は青山中学校である。議長校の生徒主体で、各校が意見交換をしたり、協働したりして取り組む活動を考えていく。昨年度は、5 つの中学校が半田市 SDGs 宣言団体登録を目指して、他の中学校の生徒や市の職員との意見交換をしながら、申請書を整えた。今年度は、SDGs の取組を維持しつつ、以前サミットで作成しているデジタルファイブを、より実効性のあるものに改訂するために議論を進めていく予定。本年度も幅広く連携しながら活動を進めていきたいと考えている。 (教育長) デジタルファイブはぜひリニューアル、アップデートしていただきたい。今タイムリーな話題でもあり、スマイル宣言やデジタルファイブが最初にできた時は、マスコミにも取り上げられた経緯がある。今回もぜひ、発表とか広報まで含めて見据えてやってもらえると、子どもたちのやりがいも変わると思う。半田市もタブレットの普及などを含めて、デジタルのいろいろな問題がある中で、子どもたちが主体となってどのようなデジタルファイブの改正を考えてくるのか、非常に期待している。広く社会にアピールするようなことも、子どもたちにとってもいいためお願いしたい。
8) 児童生徒の 交通事故・問題 行動等について	(指導主事) 令和 8 年 3 月 4 日から令和 8 年 4 月 14 日までの交通事故・問題行動等について。 交通事故: 2 件 問題行動(被害)等: 1 件 交通事故以外の事故: 0 件 学校等被害等: 0 件 不審者情報: 0 件
9) 令和 7 年度 文化活動全国大会等 出場激励金の支給実績について	(生涯学習課長) 文化活動に関する全国大会の出場者に対し、令和 7 年度は資料のとおり 26 件の個人と団体に激励金を支給したことを報告する。 (久米委員) 支給額はいくらか。

	(生涯学習課長) 1人5千円。団体の場合は最大3万円まで支給する。 (新美委員) 一部同じ大会だが、団体に記載があるものと個人で並んで記載があるものがあるが、この記載の意味は何か。 (生涯学習課長) 個人で出た場合と、団体・チームで出た場合という形で分けている。 (新美委員) 同じダンス大会だが、チームではなく個人で出ているために並んで記載があるものがある。 (生涯学習課) 再度確認する。(確認の結果:団体の場合は市内に活動拠点があることが条件になるため、個人で申請があったもの)
10)半田市立図書館及び半田市立亀崎図書館の休館について	(図書館長) 特別整理期間に行う蔵書整理のために、令和9年2月2日から2月9日の8日間で図書館を休館する。休館の根拠は、半田市立図書館条例施行規則に基づくもの。
11)地域課題解決支援コーナー及びタイアップ講座について	(図書館長) 地域課題解決支援コーナーは令和7年度から実施している。市民の興味・関心を高め、地域の課題解決に向けた行動につなげることを目的として、各種政策、いわゆる市役所本庁の各課と連携しながら、図書館内に支援コーナーを設けているもので、今年も引き続き毎月実施していく。令和7年度の実績は資料に記載のとおり。 図書館の成果として、目に見える形で貸出冊数を記載している。これは、本が棚に並んでいるだけではなかなか貸し出されないものが、こうしてコーナーに出ることで外へ出ていく、市民の手元に届くということで、図書館にとっては大きな成果だと感じている。 次に、タイアップ講座については、各担当課と連携しながら、図書館で様々な講座を実施するものである。記載のとおり、多くの講座が開催される予定で、図書館は本だけではない、こういった講座を通じた学びの拠点としての支援を行っていきたいというもので、令和8年度から新たに実施していく。 (桂委員) 図書館を利用させていただいて、入ったところにいろいろなものが並んでいると、やはり目立つため興味が湧く。自分の興味のあることだけではなく、普段は手に取らないようなものも目に入ってくるため、興味を広げ

	もらえるよい機会だと思っている。また、いろいろな方が集う場になっていて、賑わいがあるのはすごく素敵だと思う。人が集うと活気が出て、そういった場が増えてきていることを嬉しく思っているため、今後も期待したい。
12)「半田市文化財保存活用地域計画」について	(博物館長) 令和 8 年 3 月 13 日に博物館にて、第 1 回の地域計画協議会を開催した。この計画は、半田市の文化財を、地域の歴史や文化の文脈に沿って総合的に保存、そして活用することで、半田らしさを生かした地域振興、文化振興、文化財の継承を目指す計画になる。第 1 回目の協議会のため、委員の顔合わせ、会長・副会長の選出の後、事務局である博物館から、地域計画の制度や、半田市の文化財保存活用の概要について説明したところである。協議会の委員名簿や今後の作成スケジュールは資料に記載のとおりで、第 2 回については 6 月に開催予定だが、随時内容につきましては、この定例教育委員会で報告させていただく。 (教育長) 令和 9 年度に策定されるということか。 (博物館長) 令和 8 年度から令和 9 年度にかけて策定を進め、令和 9 年 12 月頃に文化庁の認定をいただいた後、令和 10 年度から計画が発効するようなスケジュールで考えている。
13)各種事業について ①「2026年度音楽イベントリスト」の発行について ②「令和 8 年度まなびとゼミ」受講者募集について ③ 半田空の科学館「Sky Lab.HANDA」中学生キャストの募集(部活動改革事業)について ④ちいさなコンサート「親子で	(生涯学習課長) ①『音楽のあるまち半田イベントリスト』 今年度のイベントをリストにして作成したもの。協定を結んでいるセントラル愛知交響楽団との事業を始め、市内で行われる音楽イベントを掲載。地域との連携ということで、市民管弦楽団や少年少女合唱団の定期演奏会についても、今年度から掲載するようにした。年間を通して予定が分かることで、多くの方に参加していただけたらと思っている。 ②学びとゼミ 毎年開催している市民講師による講座で、現在募集が始まっており、5 月 13 日まで募集をしているところである。 ③科学館スカイラボ 中学生キャスト募集 令和 7 年度から実施しているものだが、中学生の土日祝日の活動を広げるために開催している。令和 7 年度の実績としては、中学生が延べ 16 名参加いただいております、令和 8 年度も継続して募集していきたい。 ④～⑥音楽関係イベント ④『親子で楽しむアコーディオンコンサート』、⑤翌週に図書館で行われる『津軽三味線コンサート』、⑥『第 3 回音楽マルシェ』と 1 週間ごとに音楽の講座を行い、6 月 6 日のマルシェに向けて機運を高めていきたいと思っています。

楽しむ！アコーディオンコンサート！」 (5月 23 日)の開催について ⑤まちなかでアート事業「図書館で触れる生の音楽『津軽三味線コンサート』」(5月 30 日)の開催について ⑥「第3回音楽マルシェ」(6月 6 日)の開催について ⑦「赤ちゃんとしめるシャボン玉のコンサート」及び「シャボン玉のコンサートのはじまりはじまり」(6月 28 日)の開催について ⑧日本福祉大学が展開する学びのプラットフォーム「FUKU(ふく)+(たす)」を活用したオンデマンド講座の提供(5月1日～)について	る。また、5 月は図書館の地域課題解決コーナーで音楽振興を取り上げていることもあり、図書館での『津軽三味線コンサート』は、その展示最終日に開催していきたいと思っている。 ⑦シャボン玉コンサート こちらは親子向け鑑賞機会になるもので、室内で使えるシャボン玉を使ったものになる。5 月 1 日からチケットの販売を始める予定である。 ⑧日本福祉大学との連携講座 例年、日本福祉大学と共同して生涯学習講座を開催している。5 月 1 日から特設サイトで申し込みが始まり、このサイトを経由することで、市民の方は半額で受講することができる。 (桂委員) ⑦シャボン玉コンサートについて、私は劇場の会員でもあるが、今回初めて知多おやこ劇場が共催させていただくということで、感受性豊かな子どもの時に生の舞台に触れて、感性を育ててほしいという思いがある。見るだけではなく、その後の遊びに広がったり、感想を分かち合ったりする機会になればと思っている。ご都合のつく方はぜひ参加いただきたい。
⑨半田市立図書館運営基本計画スタート講演会について ⑩亀崎図書館「オタツシャ音読教室 2026 皐月」について	(図書館長) 令和 8 年 3 月に策定した図書館運営基本計画に関するスタート講演会を、6 月 20 日に開催する。内容としては、基本計画の策定に携わっていただいた先生に計画の内容をご報告いただくとともに、基調講演として京都橘大学の島田学先生をお招きして講演会を開催するもの。島田先生は、資料に記載のとおり、以前は図書館に勤務されていて、市民とともに作る図書館を実践されてきた方である。我々半田の図書館も、市民とともに作り上げていきたいという思いから、島田先生にご講演いただくもの。教育委

⑪あかちゃんと しょかんボラン ティア養成講座 について ⑫音訳ボランテ ィア養成講座に ついて	員の皆様方も、ご都合がございましたらぜひご参加いただきたい。 他の事業については資料に記載のとおり。
⑬「初夏の旧中 埜家住宅一般公 開ー半六さんの 別荘で音楽を楽 しもうー」につ いて ⑭「陶芸作家の 茶碗による呈茶 会」について	(博物館長) ⑬初夏の旧中埜家住宅の一般公開 5月30日、31日に、『半六さんの別荘で音楽を楽しもう』というコンセ プトで一般公開が行われる。建物の見学はもちろん、半田高校の箏曲部、日 本福祉大学の学生研究会、吹奏楽団によるミニコンサート、また、子どもが 座卓で学べる体験なども用意している。旧中埜家住宅を次世代に継承する 目的につながるように、お子さんや地域の方々が楽しめる内容になってお り、大学生にも運営側で関わってもらえるように企画しているため、ぜひお 越しいただきたい。 ⑭陶芸作家の茶碗による呈茶会 明日から開催されます春の工芸展の関連イベントとして、陶芸作家の茶碗 による呈茶会を開催する。3月の定例教育委員会でもご案内していたが、抹 茶が高騰しており、急遽料金を変更することとなった。前売券が500円か ら700円、当日券が600円から800円と変更している。その代わりとし て、今回、椅子とテーブルを使った立礼式という方式で行う。もともとは外 国人の方にも楽しんでいただけるように提案された方式だが、今回初めて 実施する。ぜひお越しいただきたい。
⑮正八ちゃんの 端午の節句 ⑯童話創作講座	(新美南吉記念館長) ⑮正八ちゃんの端午の節句 ゴールデンウィーク行事として、5月4日、5日に正八ちゃんの端午の節 句を行う。正八ちゃんというのは南吉の本名で、子どもの頃の南吉になった つもりで子どもの日を楽しもうという行事で、子どもたちに人気の竹とん ぼ、鎧の着用体験、紙芝居、読み聞かせなどを行うものである。行事の一部 では、半田中学校の生徒がボランティアとして参加していただける予定。 ⑯童話創作講座 6月6日、7月4日の2回で、東海学園大学の高橋先生を講師に、童話 の作り方を学ぶ。本講座で創作した童話は、新美南吉童話賞に応募すること もできる。
■各課からの事 務連絡	なし
■教育委員から の意見提言等 ①小学校1年生 の様子や幼保小 連携について	(堀崎委員) 今の4月に小学校にも相談員で入っているが、やはり先生の技量の違い で、1年生の落ち着き度合いに違いがはっきり出ると感じている。過去に話 題になったことがあるが、小学校1年生を担当する先生が、幼稚園をしっかり 見学して、どうやったら子どもたちを引きつけられるのか、怒らなくても

	注目させることができるのか、そういう技を見て学ぶとすごくよいと思う。とにかく、子どもたちを落ち着かせるために、半田小学校では学校運営協議会が中心になっている『エプロン先生』のような地域の方が教室に入ってくださると、本当に子どもが落ち着く。もちろん、分からないことがあったときにすぐ支援ができる人が入ってくれることも大切だが、もしそういう支援がない場合には、担任の先生自身に子どもを引きつける技や魅力がないと、なかなか落ち着かなくなり、課題が出てくるような状況が起こっていくと感じている。 (主任指導主事) 先ほどお伝えしたキャリア教育推進委員会の中に新しく部会を作り、架け橋プログラムについて今年度から実装する形で進めている。幼稚園訪問に行くと、幼稚園では年長さんが一番お兄さん、お姉さんで、誰よりもリーダーのようにやっているが、小学校に入学すると、一番下の何もできない子のような扱いになってしまい、そのギャップがある。本当は、幼稚園でできていたことがあるはずであり、それを小学校1年生でもうまくつなげていけるとよいと思っている。子どもたちがやる気を持って、引き続き活動できるように、架け橋の取組みを進めていきたい。 (教育長) 幼稚園から小学校に上がると、まず45分間続けて座っていないといけなくなる。保育室では自由に動き回っていたのが、45分単位で座るだけでもなかなか難しいことになる。ちょうど今は、1年生の教室ではいろいろ苦労しているのではないかなと思う。 (堀崎委員) 経験がない先生がやると、声がどんどんでかくなっていく傾向があるが、それではダメだと思う。 (教育長) その点含めて架け橋プログラムとして組織的に立ち上げたため、今後の体制に期待したい。
②学校運営協議会と地域支援の広がりについて	(新美委員) 今回の学校運営協議会の成果と課題のところで、半田地区はエプロン先生事業が活発に行われていて、私も半田小学校を見に行かせてもらったが、各クラスに入ってサポートしてくださっている姿があった。こういった好事例を、他の小学校にも紹介する形で広げていけるといいと思う。うまく機能しているところでは、どういう方々が協力してくれて、どういう形で入っているのかを共有できると、『うちの学校でもやってみようかな』というところ

	ろが出てくるのではないかと思う。 (指導主事) 学校でやっている様々な取組を情報共有できるような機会を設定できたらいいなと思う。参考にさせていただく。 (堀崎委員) エプロン先生は、学校運営協議会自体でやっているというよりも、最初に半田小学校で、主任児童委員が他自治体地区のすばらしい事例を見てきて、『ちょっとやってみたい』ということで始まったもの。主任児童委員が知り合いの方や趣旨に賛同してくれる方に声をかけて始まったとてもいい取組であり、半田小学校区協議会で説明して PR して、違う名称かもしれないが、さくら小学校や雁宿小学校にも広がっていった経緯がある。 (正村委員) 花園小学校では、今年、小学 1 年生の給食と朝の支度のお手伝いに係る依頼がチーム花園にあり、その中で対応できる人の名簿を作成のうえ、朝とお昼の時間帯で地域の方が入る取組みが始まっている。 (桂委員) 私もエプロン先生は気になっている。学校運営協議会も知っていると思うが、情報の共有のみではなく、実際に見学に行く機会があれば『これならやれる』という気持ちになれる。成岩小学校では 6 年生が 1 年生の朝の支度を手伝っているという話を聞いて、すごくいい取組みだと感じた。6 年生としても役割があり、1 年生と接する機会ができる。1 年生にとっても、いろいろな学年の子と関わることで学校に馴染みやすくなると思う。 (教育長) これこそコーディネーターの大事な役割。これらの好事例を含め、コーディネーターを対象にした研修会や見学会のようなものをやるのも方法の一つかもしれない。コーディネーターが持ち帰って、それぞれの学校でできることを探ることがいいと考える。
次回開催等	(事務局) 5月定例教育委員会 日時:5月29日(金)10時00分～ 場所:半田市役所3階 会議室301、302 (教育長) 4月定例教育委員会を終了する。

〈 閉会 11時30分 〉